

# インマヌエル中目黒キリスト教会

## 2015年6月28日聖日礼拝

---

「恥・資格はありません～聖餐の心備え」

ルカの福音書15章17節-24節

ヘブル人への手紙12章1-2節

河村従彦牧師



# 聖書朗読

## 新約聖書

### ルカの福音書 15章 17節 - 24節

聖書本文は新改訳聖書第三版  
( ©新日本聖書刊行会 ) を使用しています。

第二版の聖書はp134 ~ / 第三版の聖書はp147 ~

- 17 しかし、我に返ったとき彼は、こう言った。  
『父のところには、パンのあり余っている雇い  
人が大ぜいいるではないか。それなのに、私  
はここで、飢え死にしそうだ。
- 18 立って、父のところに行って、こう言おう。「お  
父さん。私は天に対して罪を犯し、またあな  
たの前に罪を犯しました。
- 19 もう私は、あなたの子と呼ばれる資格はあり  
ません。雇い人のひとりにしてください。」』
- 20 こうして彼は立ち上がって、自分の父のもと  
に行った。ところが、まだ家までは遠かったの  
に、父親は彼を見つけ、かわいそうに思い、走  
り寄って彼を抱き、口づけした。

- 21 息子は言った。『お父さん。私は天に対して罪を犯し、またあなたの前に罪を犯しました。もう私は、あなたの子と呼ばれる資格はありません。』
- 22 ところが父親は、しもべたちに言った。『急いで一番良い着物を持って来て、この子に着せなさい。それから、手に指輪をはめさせ、足にくつをはかせなさい。』
- 23 そして肥えた子牛を引いて来てほふりなさい。食べて祝おうではないか。
- 24 この息子は、死んでいたのが生き返り、いなくなっていたのが見つかったのだから。』そして彼らは祝宴を始めた。

# 聖書朗読

## 新約聖書

### ヘブル人への手紙 12章 1-2節

聖書本文は新改訳聖書第三版  
( ©新日本聖書刊行会 ) を使用しています。

第二版の聖書はp404 ~ / 第三版の聖書はp440 ~

- 1 こういうわけで、このように多くの証人たちが、雲のように私たちを取り巻いているのですから、私たちも、いっさいの重荷とまつわりつく罪とを捨てて、私たちの前に置かれている競走を忍耐をもって走り続けようではありませんか。
- 2 信仰の創始者であり、完成者であるイエスから目を離さないでいなさい。イエスは、ご自分の前に置かれた喜びのゆえに、はずかしめをものともせず十字架を忍び、神の御座の右に着座されました。

# 説教

「恥・資格はありません

～ 聖餐の心備え」

ルカの福音書 15章 17節 - 24節

ヘブル人への手紙 12章 1 - 2節

河村従彦師



# I 恥について

A 日本人が一般的に感じる恥

B もう少し人生観に関係したもの

C 恥と似たことば ~ 罪責感・咎



## II 聖書の中に見る「恥」

A 旧約聖書 創世記2:22 ~ 25、3:8 ~ 10

B 新約聖書 ヘブル6:6 黙示3:18

C 咎と恥

1 十字架を体験するための咎

2 世間体とは異なる恥

## II 神さまとの関わりで感じる恥

### A 自己存在を深く見つめる恥

### B 聖書に見る恥と罪責感との違い

#### 1 焦点

罪責感 ~ 行為のレベルでの痛み

恥 ~ 存在のレベルでの痛み

#### 2 解決の可能性

罪責感 → 赦しが必要

恥 → 赦しでは解決しない

### 3 存在のレベルでの痛み

「受け入れてもらったことがないことから来る  
痛み」

### 4 処方箋は受容されること

### 5 自己存在が受容されることの大切さ

全部の罪が赦されているのに

自分が自分を受け入れていない状態

## C 放蕩息子の体験した恵みの意味

1 罪を犯しました

2 資格がありません

3 受容の恵み ~ 「資格はありません。

ところが」

## D 資格がないのが唯一の資格

1 教会は志を同じくする者が集まる不思議な  
ところ

2 教会は「ゆるゆる」

3 教会の人間関係のバランス

あなたがそこにただいるだけで

みんなのこころがやすらぐ

そんなあなたにわたしもなりたい

4 周囲が間違っていると思ったとき  
聖餐式を前に「恥ずかしながら、ただいま  
帰って参りました。わたしは資格がありません。  
ですから、受け入れていただくなどとは  
思っていません」

ところがイエスさまは……

「よく帰って来た。何も気にすることはない。  
ただ、このパンとぶどう液を受けてほしい」

## 教会福音441番「主イエスのみそばに」

- 1 主イエスのみそばに 隠れ家あり  
罪もいざないも 知ることなし  
折返 あがない主よ われをそこ  
かくまいたまえ み恵みもて
- 2 主イエスのみもとに 休み場あり  
荷をときおろして いこいを得よ
- 3 主イエスのみもとに なぐさめあり  
うれいもなやみも 消え去るべし
- 4 主イエスは医者なり そのみ手もて  
いかなる傷をも いやしたまわん